

關 西 大 學

經 濟 論 集

第 17 卷

昭 和 42 年

關 西 大 學 經 濟 學 會

關西大學『經濟論集』第17卷総目次

第1号(昭和42年4月)

論 文

- バランとスウィージーの独占資本論について……………三 谷 友 吉 p. 1— 30
 英国における小企業存続に関する古典的解釈……………田 中 充 “ 31— 52
 —アルフレッド・マーシャルの場合(2)—

研究ノート

- 貿易と資本蓄積……………矢 野 恵 二 “ 53— 76
 —鬼木・宇沢のモデルをめぐって—
 サミュエル・ゴムパースの伝記風の素描(V)……………小 林 英 夫 “ 77—103
 —サミュエル・ゴムパースの研究のための覚書(5)—
 保護貿易理論にかんする若干の覚書(II)……………山 本 繁 綽 “ 105—132

書 評

- 常盤政治著『農業恐慌の研究』……………東 井 正 美 “ 133—142
 モーリス・ドップ著『社会主義論』……………重 田 晃 一 “ 143—146
 玉野井芳郎著『マルクス経済学と近代経済学』……………玉 木 興 乘 “ 147—152

新刊紹介

- 堀江保蔵編『海事経済史研究』……………津 川 正 幸 “ 153—156
 G・シュヴァルツ著『マーケティング理論の展開』……………市 川 浩 平 “ 157—162
 出 牛 正 芳 訳

第2号・通巻第100号(昭和42年6月)

論 文

- 改正「消費者物価指数」の諸問題(1)……………高 木 秀 玄 “ 163—205
 マルクス経済学の近代経済分析的再検討……………保 坂 直 達 “ 207—248

研究ノート

- イギリスにおける地域開発(1)……………小 杉 毅 “ 249—275
 Domestic Distortion Argument についての—考察……………小 田 正 雄 “ 277—284

書 評

- 清水嘉治著『経済政策の理論と現実』……………守 谷 基 明 “ 285—294
 アーサー・ロス編『労使関係と経済発展』……………嶺 学 “ 295—302

新刊紹介

- シドニイ・ウエルズ著『イギリスの貿易政策』……………原 田 聖 二 “ 303—309
 P・デビッドソン
 E・スモレンスキー 著『ケインズ経済学の新展開』……………矢 野 恵 二 “ 309—311
 安 部 一 成 訳 —総需給分析—
 通巻第100号総目録……………経 済 学 会 “ 313—374

第3号(昭和42年9月)

論 文

- 「農民的分割地所有論」の—考察……………東 井 正 美 “ 375—400

研究ノート

- 保護貿易理論にかんする若干の覚書(Ⅲ)……………山本 繁 綽 " 401—424
—幼稚産業保護論について—
- イギリスにおける地域開発(2)……………小 杉 毅 " 425—447
- 資料紹介
- J・ロビンソン著『経済学』……………保 坂 直 達 " 449—460
- 書 評
- 矢口孝次郎著『産業革命研究序説』……………岡 田 与 好 " 461—465
- 杉原四郎著『マルクス経済学への道』……………大 島 雄 一 " 467—473
- 加藤誠一著『中小企業の国際比較』……………田 中 充 " 475—485
- 新刊紹介
- 大河内一男
他六名共編『教養経済学辞典』……………杉 原 四 郎 " 487—489
- 鈴木武雄編『社会主義と財政』……………戒 田 郁 夫 " 490—493
- 大庭脩著『江戸時代における唐船持渡書の研究』……………津 川 正 幸 " 493—498

第4号(昭和42年10月)

論 文

- グンナー・ミュルダールの現代資本主義観……………有 田 稔 " 499—541
- ヴェトナムにおける農業制度と農業の発展(Ⅰ)……………鶴 嶋 雪 嶺 " 543—556
- パティンキン・モデルの修正……………貞 木 展 生 " 557—590
—貨幣貸金率の硬直性—
- 関税同盟の理論……………小 田 正 雄 " 591—609
—最近の展望—

研究ノート

- 中央銀行制度の問題点……………本 多 新 平 " 611—629
- 「統計的因果研究」と相関……………岩 井 浩 " 631—659
—帰納と統計的方法—

新刊紹介

- W・エーレルト
他二名共編『社会主義経済辞典』……………杉 原 四 郎 " 661—664
- 藤井茂著『貿易政策』……………山 本 繁 綽 " 664—669
- J・D・チェインバース
G・E・ミングイ共著『農業革命1750—1880年』……………荒 井 政 治 " 669—672

第5号・『資本論』100年特集(昭和42年12月)

論 文

- 労働節約法則と『資本論』……………杉 原 四 郎 " 673—689
- ロビンソンとマルクス……………三 谷 友 吉 " 691—708
- いわゆる「不明瞭な箇所」……………東 井 正 美 " 709—734
—マルクスの市場価値論について—
- 『ドイツ・イデオロギー』の一断面……………重 田 晃 一 " 735—757
—経済学批判の前提としての「哲学的意識」の批判—

マルクス経済理論における4つの問題点……………保坂直達〃759—788
—マルクスから学ぶもの—

書評

田中真晴著『ロシア経済思想史の研究』……………松岡保〃789—796

新刊紹介

ゴットフリート・アイザアマン著『経済と社会』……………橋本昭一〃797—803

セイモア・ブロードブリッジ著『日本工業の二重性』……………安喜博彦〃803—807

第6号(昭和43年2月)

論文

大阪堂島米商会所の創立……………津川正幸〃809—829

参入阻止価格と限界原理……………玉木興乗〃831—849

体化された技術進歩についての若干の覚書……………矢野恵二〃851—863

研究ノート

サミュエル・ゴムパースの伝記風の素描(VI)……………小林英夫〃865—892
—サミュエル・ゴムパース研究のための覚書(6)—

マーケティング・セオリー形成への経済学的アプローチ……………市川浩平〃893—908
—E・T・グレザーの理論を中心として—

古典派の国富増進論にかんする覚書……………岡本裕次〃909—925
—マルサスの場合—

書評

正井敬次著『利子学説の研究』……………森川太郎〃927—938

新刊紹介

国民金融公庫調査部編『日本の小零細企業』……………田中充〃939—942

S・B・リンダー著『発展のための貿易理論と貿易政策』……………小田正雄〃942—947

S・ワイントロープ著

『雇用成長と所得分配についてのケインズ流理論』……………浅田正雄〃948—953

THE KEIZAI RONSHU
THE ECONOMIC REVIEW
OF
KANSAI UNIVERSITY

VOLUME XVII

1967

THE ECONOMIC SOCIETY OF KANSAI UNIVERSITY

OSAKA, JAPAN